

# 恒例の「地元の皆様への感謝の会」を開催しました

平成21年11月23日(月・祝)、恒例の「地元の皆様への感謝の会」を大塚山処分場にて開催しました。今回で14回目となります。当日はお天気にも恵まれ、180名近くの地元の方々にご来場頂きました。降ろし場や水処理施設の場内見学、現在の状況等をご説明し懇談会を行いました。

## 【水処理施設見学の様子】



## 【埋立地見学・廃棄物サンプル展示の様子】



## 【弊社会長挨拶の様子】



## 【11月27日付の房総新聞に記事が掲載されました】

**埋め立て現場 環境保全に万全を期す**  
**大平興産(株)「地元の皆様への感謝の会」**

**大塚山処分場**

産業廃棄物処理業・大平興産(株)が、昭和四十六年に創立、同六十年大塚山処分場(第一処分場)で操業。平成四年、第二処分場操業開始。更に同二十年十月には第三処分場第一期(埋立容量329,198m<sup>3</sup>)が操業開始された。第三処分場設置許可前に、処分場下流側に設置の観測井で、場内保有水漏洩を示すデータ(漏洩指標となる塩化物イオン濃度と電気伝導率)が確認。但し、地下水等検査項目は環境基準超過なしが測定されたことから、その原因究明と改善を進めてきた。現在稼働中の第二処分場は、砂質凝灰岩からなる不透水性地層だが、遮水二重シートを底面と側面に設置し、地下水汚染対策に万全を期している。また、民間の廃棄物処理業では国内初となるISO

14001の認証を平成九年に取得、このマネジメントシステムによる施設や構造物の保守・点検並びに監視等を日常的に行っている。感謝の会で山田会長は「地元の皆様にはご迷惑とご心配をおかけ致しました。二年間のプランがあり、会社としては厳しい状況ですが、皆様のご理解あつての会社です」と謝辞を述べた。来賓の吉本充昇氏は「誰かが手掛けなくてはならない業界。環境を考えながらしっかりと処理することが一番」と、また、高梨良勝地元市議は「市や地域のために問題点を自力で改善している。世界的にも高い評価を得ている」と、同社に対する熱い思いを語った。その後、平野武男湊川を美しくする会長の音頭で乾杯、アトラクションが催された。